



平成 29 年 2 月 13 日

**「広島大学カイロ大学 学術交流ワークショップ」を開催します**

アフリカ地域でも有数の規模と実績を誇るカイロ大学（エジプト）より訪問団をお招きし、両大学間における幅広い分野での研究交流の促進を目的として、ワークショップを下記のとおり開催いたします。

本学とカイロ大学は、2015 年 12 月に大学間交流協定を締結し、以来、その協定に基づき研究交流活動を実施しております。

本ワークショップにおきましては、両大学よりそれぞれの大学を代表する研究者が、最新の研究成果を互いに発表するとともに、今後の両大学間における研究交流の更なる展開の発見を期して意見交換も行います。

## 記

■開催日：2017 年 2 月 21 日（火）10：00—12：30（開場 9：30）

■場 所：広島大学東広島キャンパス 法人本部棟 4F 会議室  
（〒739-8511 東広島市鏡山一丁目 3 番 2 号）  
霞キャンパス 基礎・社会医学棟 2F セミナー室 2 ※テレビ会議中継

■参加費：無料

■事前申し込み：不要

■使用言語：英語

## ■プログラム

## 【司会・進行】

広島大学教授 社会産学連携室(併)生物圏科学研究科  
学長特命補佐(グローバル広報担当) 長沼 毅

## ●10：00—10：10 開会の辞

広島大学長 越智 光夫、カイロ大学長 ガーベル G. ナッサール

## ●10：10—12：25 研究発表

- (1) カイロ大学副学長 工学部教授 アムル A. アドリー  
「磁気弾性素材を用いた振動発電」
- (2) 広島大学大学院理学研究科教授 山本 卓  
「培養細胞と動物を用いた『ゲノム編集』」
- (3) カイロ大学農学部長 教授 ハニー エルシーミ  
「バイオテクノロジー：エジプトにおける応用例」
- (4) 広島大学大学院医歯薬保健学研究院教授 茶山 一彰  
「ヒト肝細胞キメラマウスを使用した肝炎ウイルスの研究」

休憩

- (5) カイロ大学国立中央研究所癌生物学部門ウィルス学・免疫学ユニット長  
教授 アブデル-ラハマン ナバウィ ムハマディー ゼクリ  
「次世代シーケンシングが解明する肝癌関連の遺伝子異変」
- (6) 広島大学大学院医歯薬保健学研究院教授 今泉 和則  
「小胞体ストレス応答による細胞機能制御」
- (7) カイロ大学工学部助教 アハメド アリ フザイーン  
「エジプトにおけるナノテクノロジーの展望」
- (8) 広島大学大学院先端物質科学研究科 特任教授 登田 隆  
「有糸分裂と染色体分配機構の研究」

閉会の辞：

広島大学理事・副学長（国際・平和・基金担当） 佐藤 利行

■主催：広島大学

■支援：スーパーグローバル大学創成支援事業

【お問い合わせ先】

広島大学国際室国際部国際交流グループ メール：kokusai-gl@office.hiroshima-u.ac.jp 電話：082-424-6041
--

発信枚数：A4版 4枚（本票含む）



# 広島大学 カイロ大学 学術交流ワークショップ



越智 光夫  
広島大学長



ガーベル G.  
ナッサー  
カイロ大学長

## プログラム

### 【司会・進行】

広島大学教授 社会産学連携室(併)生物圏科学研究科  
学長特命補佐(グローバル広報担当) 長沼 毅

10:00 - 10:10 開会の辞  
広島大学長 越智 光夫, カイロ大学長 ガーベル G. ナッサー

10:10 - 12:25 研究発表

< 1 >

カイロ大学副学長 工学部教授 アムル A. アドリー  
「磁気弾性素材を用いた振動発電」

< 2 >

広島大学大学院理学研究科教授 山本 卓  
「培養細胞と動物を用いた『ゲノム編集』」

< 3 >

カイロ大学農学部長 教授 ハニー エルシーミ  
「バイオテクノロジー：エジプトにおける応用例」

< 4 >

広島大学大学院医歯薬保健学研究院教授 茶山 一彰  
「ヒト肝細胞キメラマウスを使用した肝炎ウイルスの研究」

コーヒーブレイク

< 5 >

カイロ大学国立中央研究所癌生物学部門ウイルス学・免疫学ユニット長 教授  
アブデル-ラハマン ナバウィムハマディー セクリ  
「次世代シーケンシングが解明する肝癌関連の遺伝子変異」

< 6 >

広島大学大学院医歯薬保健学研究院教授 今泉 和則  
「小胞体ストレス応答による細胞機能制御」

< 7 >

カイロ大学工学部助教 アハメド アリ フザイン  
「エジプトにおけるナノテクノロジーの展望」

< 8 >

広島大学大学院先端物質科学研究科 特任教授 登田 隆  
「有糸分裂と染色体分配機構の研究」

閉会の辞

広島大学理事・副学長 (国際・平和・基金担当) 佐藤 利行



開催日時：2017年 2月 21日(火) 10:00-12:30 (開場：9:30)

会場：広島大学法人本部棟4F会議室

使用言語：英語，参加費無料 (事前申込み不要)

主催：広島大学 支援：スーパーグローバル大学創成支援事業



問合せ先：広島大学国際室国際部国際交流グループ 〒739-8511 広島県東広島市鏡山1-3-2  
TEL: 082-424-6041(内線：6041), E-mail: kokusai-gl@office.hiroshima-u.ac.jp

HIROSHIMA UNIVERSITY

CAIRO UNIVERSITY







# Academic Workshop by Hiroshima University and Cairo University

Mitsuo Ochi,  
President of  
Hiroshima University  
(HU)



Gaber G. Nassar,  
President of  
Cairo University  
(CU)

## Program

<Chair>

Prof. Takeshi Naganuma, Office of Industry-Academia-Government and Community Collaboration & Graduate School of Biosphere Science, Special Assistant to the President (Global Public Relations), HU

10:00 - 10:10 Opening Remarks

Mitsuo Ochi, President of HU, Gaber G. Nassar, President of CU

10:10 - 12:30 Presentations

< 1 >

Prof. Amr A. Adly, Vice President, Faculty of Engineering, CU  
"Electrical energy harvesting from mechanical vibrations using magneto-elastic materials"

< 2 >

Prof. Takashi Yamamoto, Graduate School of Science, HU  
"Genome editing in cultured cells and animals"

< 3 >

Assistant Prof. Ahmed Ali Huzayyin, Faculty of Engineering, CU  
"Nanotechnology prospects in Egypt"

< 4 >

Prof. (Special Appointment) Takashi Toda, Graduate School of Advanced Sciences of Matter, HU  
"Exploring the molecular mechanism of mitotic progression and chromosome segregation"

Coffee break

< 5 >

Prof. Hany A. El-Shemy, Dean, Faculty of Agriculture, CU  
"Overview of biotechnology application in Egypt"

< 6 >

Prof. Kazuaki Chayama, Institute of Biomedical & Health Sciences, Basic Life Sciences, HU  
"Human hepatocyte chimeric mouse model for hepatitis virus studies"

< 7 >

Prof. Abdel-Rahman Nabawi Mohammedi Zekri, Head, Virology and Immunology Unit,  
Cancer Biology Department, National Cancer Institute, CU  
"NGS unravel relevant genetic changes contributing to HCV associated  
hepato - carcinogenesis research"

< 8 >

Prof. Kazunori Imaizumi, Institute of Biomedical & Health Sciences, Basic Life Sciences, HU  
"The biological roles of endoplasmic reticulum and its stress response"

Closing Remarks

Toshiyuki Sato, Executive and Vice President (International / Peace / Fund), HU



Date & Time: February 21<sup>st</sup>, 2017, 10:00 - 12:30, Venue opens at 9:30  
Venue: 4F (Meeting Room), Administration Bureau, Hiroshima University  
Language used: English, Admission free, Registration not required

Supported in part by the Top Global University Project Japan,  
in cooperation with the International Office, Hiroshima University



For inquiries: International Exchange Group, International Office, Hiroshima University

1-3-2, Kagamiyama, Higashi-Hiroshima, 739-8511 JAPAN

TEL: 082-424-6041 / FAX: 082-424-6179, E-mail: kokusai-gl@office.hiroshima-u.ac.jp

HIROSHIMA UNIVERSITY

CAIRO UNIVERSITY

